環境経営レポート

2021年版

＜2021年9月1日～2022年8月31日＞

日信商工株式会社

2022年10月28日発行

エコアクション21®

認証番号0012660

目次

1．会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3．推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5．環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8

6．環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容・・・ 9～12

7．環境関連法規制の遵守状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

8．安全活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

9．その他環境活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14~15

10. 新工場「NISCO熊本」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

11. 代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・・・・・・・ 17

1．会社概要

■概要

（1）社名

日信商工株式会社（英文表記：NISCO CO.,LTD）

（2）所在地（本社・工場）

〒335-0032
埼玉県戸田市美女木東2-2-2

（3）代表者

代表取締役社長　関口　良平

（4）設立

1967年11月

（5）資本金

1,000万円

（6）事業規模

売上高　：1265百万円（2021年度）
従業員数：本社31人　熊本事業所8人 NISCO熊本8人（2021年8月30日
床面積　：本社５２０㎡　熊本事業所１３１㎡　NISCO熊本６２７㎡

（7）事業内容

半導体製造装置機器部品及び関連装置機器の開発設計と製造販売
クリーンルーム内設備機器の開発設計と製造販売
テフロン等フッ素樹脂、その他樹脂溶接・加工
タンク、槽、容器、器具類の開発設計と製造販売
耐薬品用ポンプ、耐薬品制御用バルブの開発設計と製造販売
ガススクラバー開発設計と製造販売

（8）環境管理責任者及び担当者

責任者：　横塚　雅人
連絡先：　TEL　048-421-1234
　　FAX　048-422-0175
　　URL　http://www.nissin-nisco.co.jp

■沿革

1967年11月	東京都板橋区にて日信商工株式会社設立 埼玉県戸田市に営業所及び工場を建設し 半導体製造装置機器部品の開発設計と製造販売を開始
1977年9月	第２工場を建設
1986年11月	現在地の戸田市美女木工業地区に新工場建設・移転
1987年4月	上記同地に本社・営業機能を移転
1988年3月	台湾国策による半導体製造工場建設へ参画
2014年2月	クラス１０００クリーンルームを設置、運用を開始
2016年3月	島津製オートグラフを導入、運用を開始
2021年4月	本社工場において再生可能エネルギー100%電力の使用を開始
2022年4月	新工場「NISCO熊本」稼働開始 クラス１０００クリーンルーム完備

２．環境経営方針

『地球人としての取組み』

当社は、樹脂製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとして捉え、次の行動指針を定めます。

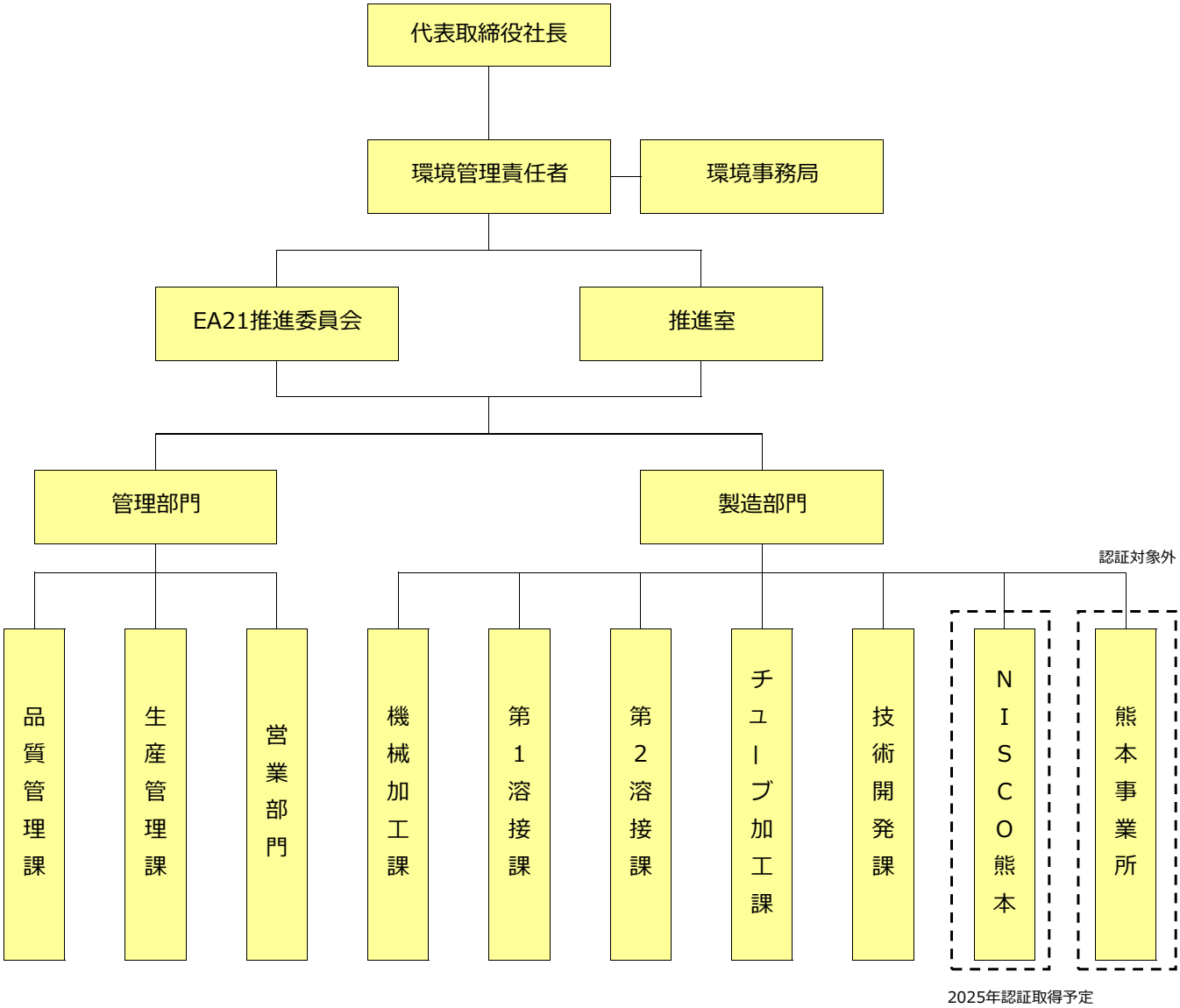
① 二酸化炭素排出量の削減
② 化学物質使用量の削減及び適切な管理
③ 廃棄物の削減および再資源化の推進
④ 排水量の削減
⑤ グリーン購入の推進
⑥ 提供する製品・サービスにおける環境配慮
⑦ 事業活動に伴う環境関連法規の遵守
⑧ 環境に配慮した新規事業の創出
⑨ 地域環境を良くするための活動の実施

先に定めた指針の中で①～⑦は定常活動であり、環境保全に関するより一層の共有知識化を推進します。活動実績が数値上のみで推移している現状、各グループによる活動のプレゼンテーションや新たな取組みに対し、表彰制度の導入等、活動実績を明確にして行きます。
また、⑧の環境配慮型新規事業の創出を具現化出来る様に、新たに推進室を設定します。

制定日：2017年10月1日
改訂日：2020年8月30日

日信商工株式会社
代表取締役社長　　関口　良平

3．推進体制



本社・工場（埼玉県戸田市）

4．環境経営目標

2017年度の環境負荷の実績を基準として、2018年度～2022年度までの環境目標を次のように設定した。

	環境目標	単位	基準年度 実績	2018年 目標	2019年 目標	2020年 目標	2021年 目標	2022年 目標
CO2排出量	CO2排出量	(kg-CO2)	54,686	53,592	52,499	51,405	50,311	49,217
			2017年度比⇒	△2%削減	△4%削減	△6%削減	△8%削減	△10%削減
		(kg-CO2)/百万円	70.75	69.34	67.92	66.51	65.09	63.68
			2017年度比⇒	△2%削減	△4%削減	△6%削減	△8%削減	△10%削減
	電力	(kWh)/百万円	137.4	136.1	134.7	133.3	実績把握とする	―
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減		△1%削減
	ガソリン	(ℓ)/百万円	1.41	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
廃棄物	事業系一般廃棄物	(kg)	3.13	実績把握とする	3.10	3.07	3.04	3.00
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
	産業廃棄物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	12.03	11.90
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
	有価物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	実績把握とする	―
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減		△1%削減
水	上水使用量	㎥	378.0	374.2	370.4	366.7	362.9	359.1
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
グリーン購入率		%	22	25%以上	27%以上	29%以上	31%以上	34%以上
			基準年度比⇒	1.15%増	1.25%増	1.35%増	1.45%増	1.55%増
製品サービスの環境配慮 （梱包資材の削減）		(¥)/百万円	1,150	1,139	1,127	1,116	1,104	1,093
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
化学物質の適正管理		(回)	実績把握とする 実績値 9.4	ラッカーシンナーの使用率50%減	年一回のリスクアセスメントを実施	年一回のリスクアセスメントを実施	年一回のリスクアセスメントを実施	年一回のリスクアセスメントを実施
多能工技術者の育成		(人)				多能工化に向けたシステム構築をする	多能工技術者育成開始	多能工技術者 １人

二酸化炭素排出係数：0.474kg-CO2/kWh（調整後排出係数）
※平成28年度実績　公表：平成29年12月21日　東京電力エナジーパートナー㈱

5．環境経営計画（1/2）

		活動内容
二酸化炭素排出削減に関するもの	電力使用量の削減	３ヶ月に1回エアコンと照明器具の掃除を行う
		エアコンの設定温度が守られているか確認する
		熱のロスを防ぐ対策を考える（期限：8月末）
		天井埋込形エアコンの吹き出しにファンなどを付けて、 風を攪乱させる装置を導入する（期限：8月末）
		設備の定期点検と予防保全の実施する
		電気使用量データの見える化を検討する（期限：3月末）
	ガソリン使用量の削減	定期点検（タイヤ空気圧・オイル交換）を実施する
		車両記録に、走行距離と給油量を記入し、燃費実績確認による意識付けをする
		エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、 駐停車中のエンジン停止など）を励行する
		納期遅延を減らし、不要な持ち込み納品をしない
廃棄物排出量削減、材料の歩留まりの向上に関するもの	事業系一般廃棄物の削減	３S（整理・整頓・清掃）活動を推進する
		加工ミスによるロスの低減に努める
		マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行う
		従業員などにマイバッグ運動を呼びかける
		製品の回収に繋がるクレームの発生を撲滅するため製品の品質管理に努める
		廃棄物のリサイクル移行を検討する(期限：12月末)
		廃棄物の処分先を定期的に、直接、確認する
	有価物（廃PFA、PTFE量）の削減	材料取りの寸法が適切か見直しを行い材料のムダを無くす
		端材を整理し、材料を有効に使用できるようにする
	梱包資材の削減	梱包方法をルール化して梱包資材の使用量を抑制する(期限：11月末)
		緩衝材、段ボールを再利用する

5．環境経営計画（2/2）

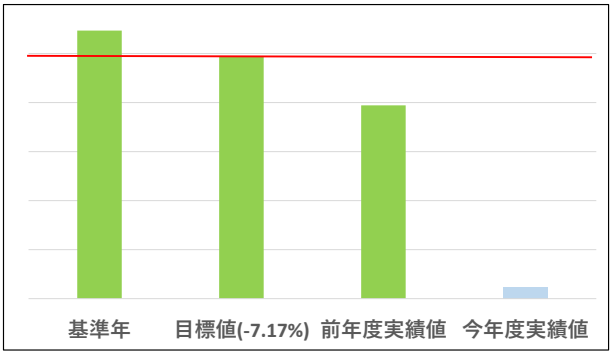
		活動内容
水使用量削減に関するもの	上水使用量の削減	節水を促す啓発ポスターを制作し水場に掲示し、手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する
		作業に支障のない範囲で、節水をできる洗浄方法などを模索し、それらの作業をルール化して運用する
		節水強化月間を定め、水使用量の削減に努める（対象：３月、４月）
化学物質使用量削減に関するもの	化学物質使用量の抑制及び管理	社内にて使用する化学物質のその種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録、管理する
		社内にて使用する化学物質のSDS最新盤を年1回入手し、それを管理する
		入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する
		洗浄薬品などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減に取り組んでいる
		使用する化学物質についてリスクアセスメントを実施する
その他の環境活動に関するもの	環境コミュニケーション	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行っている
	社会貢献	環境に関連する表彰制度を実施する
		会社周辺を定期的に清掃する
		ペットボトルキャップの回収を定期的に行い、寄付する(資源の再利用を行う)
人材育成	多能工技術者の育成	スキルマップによるスキルの見える化をする
		評価基準を制定する
		他の業務に触れる機会を作る
		外部講習等を利用しスキルの習得をする

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■CO2排出量の削減(総量評価　単位：kg-CO2)

達成状況:〇

基準年	54686
目標値(-7.17%)	49323
前年度実績値	39437
今年度実績値	2270



評価

再生可能エネルギー100%の電力に切り替わっているので大幅に達成できています。
また、新型コロナウイルスの関係で社用車の使用頻度が低くなっいるので更に削減されています。

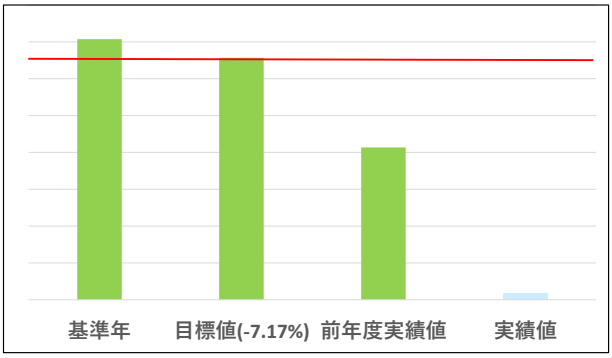
次年度の取り組み

更に削減するためには、社用車の使用を抑制する必要があるので、不要な外出をしない様にします。

■CO2排出量の削減(原単位評価　単位：(kg-CO2)/百万円)

達成状況:〇

基準年	70.75
目標値(-7.17%)	65.68
前年度実績値	41.35
実績値	1.79



評価

排出量自体が削減されており、売り上げも上がっているので問題なく達成できている。

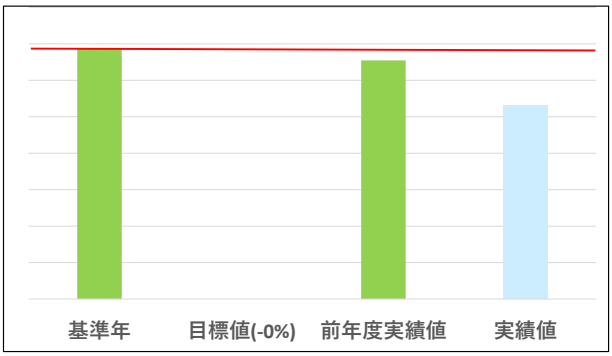
次年度の取り組み

引き続き、排出量の削減と売り上げの増加を行っていく

■電力使用量の削減(原単位評価　単位：(kWh)/百万円)

達成状況：ー

基準年	137.4
目標値(-0%)	-
前年度実績値	130.9
実績値	105.9



評価

今期では、現状の電力使用量を把握することに努めた。しかし、活動目標に対して達成できなかった部分が多く、取り組み方の見直しが必要であると感じました。今期で見えてきた部分もあるので来期の活動につなげられたらと思います。

次年度の取り組み

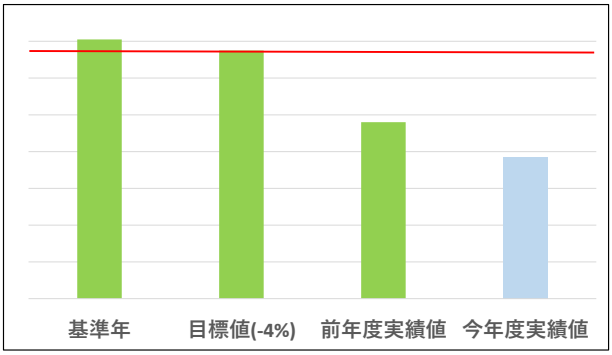
来期から、定期的にエアー配管の漏れの確認を行いコンプレッサーの無駄な稼働を抑制します。また電気使用量データを掲示し、社内で情報共有します。更に、残業の目標を設定して残業時間の削減に取り組みます。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ガソリン使用量の削減(原単位評価　単位：(ℓ)/百万円)

達成状況:〇

基準年	1.41
目標値(-4%)	1.35
前年度実績値	0.96
今年度実績値	0.77



評価

3月以降で達成できない月はあったが不要な外出はしておらず、行先に遠方が多かった為である。
新型コロナウイルスの影響がいまだにあり、外出機会が減っている為に問題なく達成できている

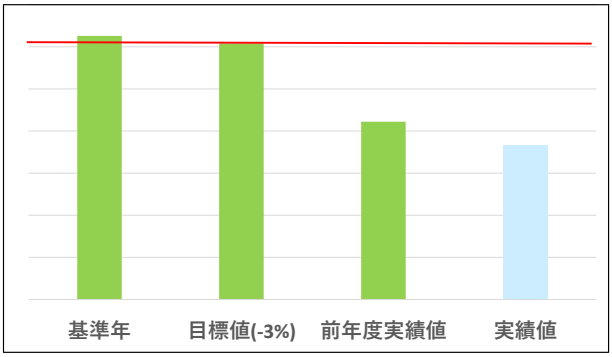
次年度の取り組み

良い結果を残せているのですが、新たな取り組みとして、ルートや納品の回数などを再検討する事と、持ち込み納品の製品を出荷に切り替えられないかなどを検討したいと考えております。

■事業系一般廃棄物の削減(原単位評価　単位：(kg)/百万円)

達成状況:〇

基準年	3.13
目標値(-3%)	3.04
前年度実績値	2.11
実績値	1.83



評価

重量の大半を段ボールが占めており、段ボールの削減が課題であった。そこで4月より段ボールをリサイクルに移行し、重量が大幅に削減することができ、最終的に問題なく達成できた。

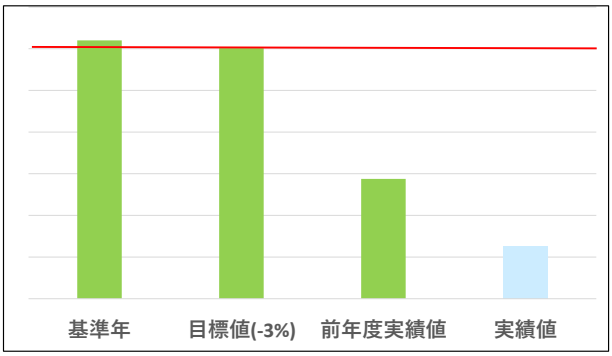
次年度の取り組み

プラスチック資源循環法の施行により、ビニール等が産業廃棄物扱いになった。目標は達成しやすい方向に進むが、今までに比べ分別に対しより厳格に行う必要があるので、POPの掲示などで分別の徹底をしていきたいと思います。

■産業廃棄物の削減(原単位評価　単位：(kg)/百万円)

達成状況：〇

基準年	12.4
目標値(-3%)	12.0
前年度実績値	5.75
実績値	2.52



評価

産業廃棄物の物を有価物へ移行した物もあり、その分、削減方向でした。
回収が不定期だったため定期的な回収に変更し重量の把握をよりわかりやすくした。

次年度の取り組み

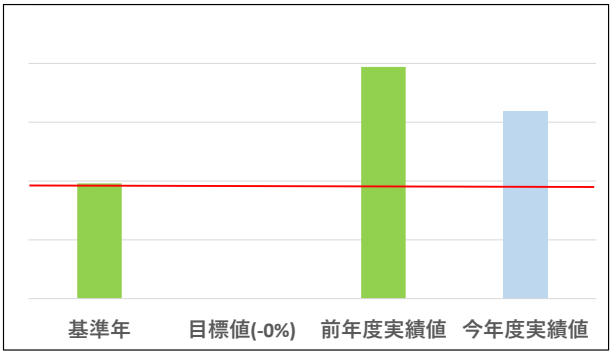
プラスチック資源循環法の施行により、ビニール等が産業廃棄物扱いになった。重量としてはそこまで多くないが、今後目標達成に支障が出る可能性がないとは言い切れないので、更に廃棄物の削減に取り組んでいく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■有価物の削減(原単位評価　単位：(kg)/百万円)

達成状況:ー

基準年	0.98
目標値(-0%)	ー
前年度実績値	1.97
今年度実績値	1.59



評価

今年は基準見直しの為の一年だった。また、今までは産業廃棄物で廃棄していた切粉の中から、分別を行える物を有価物に変更した。有価物の重量としては増えてしまうが、リサイクルになるものを少しでも増やそうという思いで変更しました。

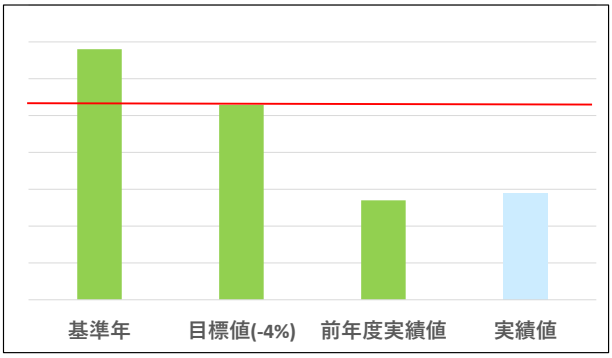
次年度の取り組み

材料取りの寸法の見直しに関しては、まだまだ変更できるものが隠れていると思うので、引き続き取り組んでいきます。切粉に関しても同様に、廃棄からリサイクルに変更できる物は変更していきたいと思います。

■上水使用量の削減(総量評価　単位：㎥)

達成状況:〇

基準年	378.0
目標値(-4%)	362.9
前年度実績値	337.0
実績値	339.0



評価

今期は実績値339.0㎥（-11.5%）で問題なく目標達成出来ました。しかし、3，4月での節水強化月間を制定し実行したがあまり効果が現れなかった。どの様な所に多く使われているのかもう少し詳しく調べる必要があると考えています。

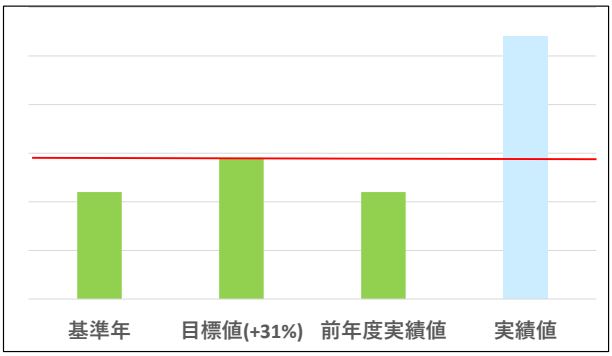
次年度の取り組み

今までは、請求書の数字のみで考察・検証を行っていたが、今後は、毎日水道メーターを確認し細かいデータ取りを行い、今後の考察・検証に活かせる様にしていきます。

■グリーン購入の推進(総量評価　単位：%)

達成状況：〇

基準年	22
目標値(+31%)	29
前年度実績値	22
実績値	54



評価

今期はNISCO熊本立ち上げに伴って購入したものが高額のグリーン商品であった為、大幅に達成できました。
今後は高額なグリーン商品に頼らない様にする為、グリーン商品、エコ製品の購入を促すためのアピール等を考えていきます。

次年度の取り組み

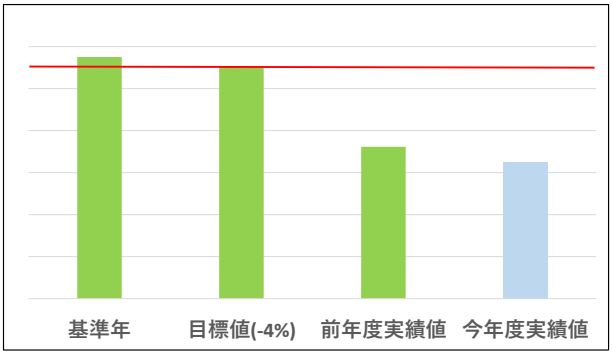
グリーン商品の購入実績を貼り出すなどして、みんなにグリーン購入の意識を高められる様に展開していきたいです。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■梱包資材の削減(原単位評価　単位：(￥)/百万円)

達成状況:〇

基準年	1150
目標値(-4%)	1104
前年度実績値	723
今年度実績値	650



評価

梱包資材の購入単価が上がったにも関わらず大幅に達成することが出来ました。物量が増える中、梱包資材の再利用、節約が出来ていると思われます。

次年度の取り組み

梱包資材単価が高騰したまま次年度を迎えるので、次年度でも目標達成できるように梱包方法の維持と更なる改善を図りたいと思います。

■化学物質の適正管理(総量評価　単位：回)

達成状況:〇

基準年	ー
目標値	1
前年度実績値	1
実績値	1

評価

リスクアセスメントも内容をバージョンアップし実施しました。
しかし、薬品による備品の溶けが発生してしまったので、来期では発生しない様に管理方法の見直しを行います。

次年度の取り組み

リスクアセスメントの実施、事故防止はもちろんのこと、使用量の更なる削減を検討していく。
今期と同様の事案が発生しない様に管理、教育含め検討していきます。

■人材育成

達成状況：〇

基準年	-
目標値	-
前年度実績値	-
実績値	-

評価

外部講習の参加に関しては参加者が徐々に増えてきているので今後も継続してスキル習得のサポートを行っていく。
大幅な受注増が続き、他の業務に触れる時間を確保することが困難な部分があった。今後は時間を確保する仕組みが課題である。

次年度の取り組み

次年度より、多能工技術者の育成完了が目標になっているので、達成できる様に仕組みやサポート体制をより充実させていきます。

7. 環境関連法規制の遵守状況

1.廃棄物、リサイクル　　関連法規見直し日　2022年8月1日　　遵守評価日　2022年8月30日　【評価】遵守：○、不遵守：×

廃棄物処理法、市廃棄物処理と再生利用条例		条項	実施状況	評価
一般	許可業社と契約し、委託しているか	6条の2	株式会社クリーンシティと契約書あり	○
	市の分別基準を遵守しているか		遵守している	○
契約	収集業者との処分業者と個別に契約しているか	12条	株式会社クリーンシティ・株式会社FUJIの契約書あり	○
	委託品目が許可されているか	〃	許可されている	○
マニフェスト	B2票、D票は90日以内に、E票は180日以内に戻っているか	〃	戻ってきている	○
	マニフェストを5年間保管しているか	〃	保管している	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	〃	提出している	○
保管	種類、管理者名、保管量を表示しているか	〃	表示している	○
	飛散、流出、悪臭がない様にしているか	〃	している	○
資源有効利用促進法		条項	実施状況	評価
廃パソコン、廃携帯電話の回収をメーカーに依頼したか		-	期間中廃棄なし	○
プラスチック資源循環促進法		条項	実施状況	評価
プラスチック使用製品、産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等をしているか		-	エコアクション21で取り組んでいる	○
自動車リサイクル法		条項	実施状況	評価
自動車リサイクル券があるか		-	車検証内にあり	○
廃車時に自動車引取業者に渡したか		8条	期間中廃棄なし	○
家電リサイクル法		条項	実施状況	評価
家電を廃棄するときに料金を支払い、リサイクル業者に渡したか（家電リサイクル券があるか）		6条	期間中廃棄なし	○

2.公害（大気関係）

自動車NOx・PM法	条項	実施状況	評価
ディーゼル車はNOx・PM対応車か（車検証で確認する）	12条	車検証で確認済	○

3.温暖化、化学物質、関連法規

フロン排出抑制法		条項	実施状況	評価
業務用エアコン、冷媒機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか		19条	廃棄あり フロン破壊証明書入手済	○
フロンマニフェストを3年間保管しているか		20条の2	委託確認書の確認	○
室外機及び室内機の点検		16条	簡易点検実施済	○
グリーン購入法		条項	実施状況	評価
グリーン購入法購入に積極的に取り組んでいるか		5条	エコアクション21で取り組んでいる	○
グリーン購入比率、又は購入件数の目標を設定し取り組んでいるか		8条	エコアクション21で取り組んでいる	○
道路運送車両法		条項	実施状況	評価
自動車の使用者	定期点検を行っているか（例　自家用トラック：6ヶ月に1回、乗用車：1年に一回）	48条	実施している	○
	点検整備記録を車両に備えているか	48条	備えている	○
水銀使用製品産業廃棄物		条項	実施状況	評価
廃水銀等が適正に処理されているか		8条	エコアクション21で取り組んでいる	○
リスクアセスメント		条項	実施状況	評価
リスクアセスメントを実施しているか		57条の3	エコアクション21で取り組んでいる	○

4.県条例、市条例

埼玉県生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
アイドリング	アイドリングストップを行っているか	40条	行っている	○
戸田市生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
廃棄物	廃棄物の処理その他の公害を防止	5条	行っている	○

手順　1. 環境管理責任者は法規の制定、改定の情報に注意を払い、法規の改定に応じて本表を改定する。　　使用停止後3年間保管

2. 環境管理責任者は毎年3月頃までに遵法性をチェックして、本表に記入する。

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や告訴も1件も発生しておりません。

安全活動

■緊急事態の対応及び訓練状況

火災発生時訓練（2022年5月19日実施）

5回目の消防訓練。新型コロナウイルスの影響により5月に実施しました。
今回も戸田市の消防士さんに来ていただき、通報訓練、避難訓練、水消火器による消火訓練を実施しました。

その他環境活動

■会社周辺の清掃を月一回、社員全員で清掃活動を行っています。

その他環境活動

■ペットボトルキャップ回収と寄付を行いました。
（2022年8月18日までの回収分）

気づけばペットボトルキャップの寄付が3回目になりました。
今後もこの活動が続けられるように頑張っていきたいと思います。

キャップ実績レポート

日信商工株式会社　様

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。 皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■今回のご提供キャップ　（2022/08/18　分）　（回収分）

重量	個数（概算）	預かり寄付金
10.94　Kg	4,704　個	109　円

ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ（小児麻痺）	約　20　円	約　5.45　人分

※1kg＝約430個＝約￥10の計算になります。
上記の数値はご提供いただいたキャップを売却した際の数字ですので市場動向により変動することがあります。
また、ワクチンはポリオ以外にBCG（約￥7）・はしか（￥95）・MMR（約￥114）・DPT（約￥9）など、あります。
寄付金額（重量ｘ１０円）は一時お預かりしたあと、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様に送金いたします。

CO2換算　34.46　kg　の削減に繋がりました。

※CO2の換算方法は、キャップ1kg（約430個）をごみとして焼却するとCO2が3150ｇ発生しますので、重量（kg）×3150ｇで計算しています。

■これまでの合計

総重量　35.05　Kg

■障がい者施設からのお礼

皆さんのおかげで楽しくお仕事をしています。
ありがとうございます。

柏の葉（立川市）
天成舎（国立市）
こだち（狛江市）
おおやま（板橋区）
バオバブ（東久留米市）

新工場「NISCO熊本」稼働開始

■新たな環境活動の取り組みへの第一歩!

この度、熊本県菊池市に新たな工場『NISCO熊本』を立ち上げ、稼働を開始いたしました。

この工場は、廃園となった幼稚園をリノベーションし再利用しております。

再利用することにより、廃棄物やCO2の抑制に貢献できると考えリノベーションいたしました。

今後、本社同様に再エネ100%電力への切替はもちろんのこと、太陽光発電の導入なども視野にいれて活動して参ります。

また将来的には、新規環境配慮型製品の開発・製造や循環型社会の実現に向けた拠点として確立させ、当社のレベルが更にアップ出来るような工場にしていきたいと考えております。

代表者による全体の評価と見直し

【環境経営方針】

昨今の世界情勢において、我々が携わる半導体業界ではアンバランスな状況で推移しており、直ぐに改善するものでもなく、現状に近しい状態が続くものと思います。これはコントロール出来ないもので、如何に、自己コントロール出来るものを継続して活動出来るかが焦点です。前傾姿勢を保ち続けることで成果が見えてきます。エネルギー分野においては、特に、電気使用に関して、注視して行く必要があります。環境経営をする上でCO2排出量の削減が命題で、ここを主眼とした活動をするべきです。供給される我々がしっかりと見極め、再生エネルギーやCO2排出量ゼロの電力源を使用して、目に見える成果を上げることは現在、難しいことではありません。全体的に言えることですが、原単位評価での達成は、年々、削減するパーセンテージからすると継続的な活動プラスαを生産していかないと立ち行かなくなるものと考えます。多角的な視点を以って、各グループがバランスさせることで目標達成が成し遂げられます。

【環境経営目標及び環境経営計画】

各グループでの活動は活性化を含め、人員の入れ替えやグループリーダーの変更が必要であると考えます。また、現状の活動プラスαの生産を考慮すると、実態把握、新たな取組みへの協議、検証、実行、有効性の評価を繰り返し行う必要があります。これには前傾姿勢で引っ張って行けるリーダーの資質が欠かせないもので、目標設定において相応しいリーダーの選定が必要です。

【環境経営システムの各要素】

特になし

代表取締役社長

関口　良平